

玉露生葉への古葉及び木茎の混入が製茶品質に及ぼす影響

中村晋一郎・大森 薫・久保田朗・杉山喜直・大森宏志 (福岡県農業総合試験場八女分場)

Shin-ichiro NAKAMURA, Kaoru OHMORI, Akira KUBOTA, Yoshinao SUGIYAMA and Hiroshi OHMORI :
Quality of Green Tea (Gyokuro) Contaminated with Old Tea Leaves or Stalks

玉露生葉の品質評価基準設定の基礎資料とするため、玉露生葉への古葉及び木茎の混入割合が製茶品質と荒茶価格に及ぼす影響について検討した。

1. 試験方法

1988年は標準的に栽培された玉露園 (自然仕立て、品種やぶきた) より適期に手摘みした生葉を用いた。この生葉から古葉と木茎 (摘採の時、茎が途中で切れずに葉柄基部からもげた茎を木茎とした) を除去した後、重量割合で古葉は0~0.5%まで0.1%刻みで6段階、木茎は0~5%まで1%刻みで6段階に混入したサンプルを作り、それぞれ1Kg型製茶機で製茶した。製茶品質は各項目20点満点の普通審査法で審査し、荒茶価格は購販連茶流通センターで評価した。

1989年は摘採時期と古葉及び木茎混入が製茶品質と荒茶価格に及ぼす影響を解明するため、早摘み、適期摘み、遅摘みと2日おきに3回摘採し、1988年と同様な方法で調査した。

2. 結果及び考察

1) 古葉の混入割合と製茶品質及び荒茶価格

古葉の混入による製茶品質への影響は、外観では混入率0.2%まではほとんどみられなかった。0.3~0.4%になると黄葉 (古葉) がやや目立ち、0.5%になると黄葉がかなり目立ち、外観の評点が低下した。

内質では古葉の混入率0.5%までは大きな影響はみられなかった (第1表)。荒茶の評価額は外観の良否が大きく影響し、古葉の混入が多く外観の評点が低いものほど価格が著しく低下した。これは、混入した古葉を除去するのに手間がかかり、その上、除去後の古葉には全く利用価値がないためである。

また、古葉の混入が荒茶価格に及ぼす影響と摘採時期との関係について検討したが、摘採の早晚による違いはほとんどみられなかった。

2) 木茎の混入割合と製茶品質及び荒茶価格

第1表 古葉の混入割合と製茶品質・荒茶評価額

混入率 (%)	製茶品質			備考	荒茶価格 (円/Kg)
	外観	内質	合計		
0	40	60.0	100.0		7,000
0.1	40	59.5	99.5		7,000
0.2	40	59.5	99.5		6,800
0.3	39	59.5	98.5	黄葉やや目立つ	6,500
0.4	38	59.5	97.5	"	6,200
0.5	37	59.0	96.0	黄葉目立つ	6,000

木茎の混入による製茶品質への影響は、外観では混入率1%までは影響は少ないが、2~3%になると白茎 (木茎) がやや目立ち、4%以上になると白茎がかなり目立ち、評点がかなり低下した。内質では混入率5%まではそれほど大きな影響はみられなかった。

荒茶価格は木茎混入率2%までは無混入と大きな差はなかったが、3%以上になると価格の低下が著しかった。しかし、白茎は除去後白折茶の原料として利用価値が高いため、古葉の混入による価格低下ほど大きくはなかった (第2表)。

また、木茎の混入率と製茶品質及び荒茶価格との関係は摘採時期の影響が大きかった。早摘みでは5%の混入でも白茎はあまり目立たないが、遅摘みでは1~2%の混入でも白茎がやや目立ち、3~5%の混入ではかなり目立った。これは摘採が遅くなると茎の硬化度合が大きくなるため、白茎は早摘みでは扁平、遅摘みでは丸みをおびるものとなった。

荒茶価格は、早摘み、適期摘みでは5%の混入でも無混入の約4%の低下であるのに対し、遅摘みでは約9%の低下となった (第3表)。

第2表 木茎の混入割合と製茶品質・荒茶評価額

混入率 (%)	製茶品質			備考	荒茶価格 (円/Kg)
	外観	内質	合計		
0	40	60.0	100.0		7,000
1	39	59.5	98.5		7,000
2	38	60.0	98.0	木茎やや目立つ	6,900
3	38	59.0	97.0	"	6,600
4	37	58.5	95.5	木茎目立つ	6,500
5	37	58.5	95.5	"	6,500

第3表 木茎の混入割合と荒茶評価額

混入率 (%)	摘採月日			備考
	5.8	5.10	5.12	
0	7,000円	6,900	6,800	
1	6,900	6,800	6,600	イ ごくわずかに目立つ ロ やや目立つ
2	6,900	6,800	6,600	
3	6,800	6,700	6,400	イ 木茎目立つ ロ かなり目立つ
4	6,700	6,550	6,300	
5	6,700	6,550	6,200	

注) 備考のイは5月8日及び5月10日摘採のもので、ロは5月12日摘採のものである。